

計画2 教科書を活用しながら独自の題材で授業を行う例

年間指導計画は、生徒の実態や住んでいる地域の実情に合わせて考えるとよい。

以下に、光村図書「美術」教科書を活用しながら、独自の題材を展開した例を示した。

●第1学年

この学校は自然豊かな場所にあるため、風景を描いたり、石を観察してつくったりするなど、自然を見つめる題材が多く設定されている。また、近隣に美術館があるため、美術館と連携した題材も展開している。

第1学年 年間45時間	
3学期制の場合	1学期：週1時間を12週（12時間）／2学期：週1時間を4週、週2時間を10週（24時間） ／3学期：週1時間を9週（9時間）
2学期制の場合	前期：週1時間を18週（18時間）／後期：週1時間を7週、週2時間を10週（27時間）

学期	時数	分野・領域	題材名	学習活動	使用する教科書題材	ページ
前期 (18時間)	1	オリエンテーション	美術の学び	○自分の身の回りにあるものを改めて見つめなおし、「うつくしい」と感じたものを写真に撮影したり、絵にあらわしたりする。 ○教科の目標と関連させながら、1年間の計画や内容を理解する。	うつくしい!	2~4
					美術って何だろう?	6~7
					美術で学ぶこと	8~9
	5	絵や彫刻など [つくる活動]	本物はどっち?	○石をスケッチして形を把握したあと、粘土で石をあらわす。 ○制作の途中で実物と粘土を並べて置き、正面や側面から観察したり、高さを比べたりして形や質感を把握する。 ○個々の石の色の細かな違いなど、発見したことをもとに表現する。 ○グループで、表現の意図や作品に込めた思いなどを交流し、お互いのよさを感じ取る。	見つめ、感じ取り、描く	10~13
					自然の形や色を見つめて	14~15
	1	絵や彫刻など [鑑賞]	物語をつむぐ	○吉田博「瀬戸内海集 帆船（朝）」から感じ取れることを他者と共有し、この船がどこへ向かおうとしているのか考え、物語を想像する。	絵から物語をつむぐ	20~21
					美術鑑賞を楽しむ手がかり	80
	5	デザインや工芸など [描く活動]	新しい和の模様	○諸外国の模様と日本の模様を比べ、「和」の特徴について考える。 ○自然の中から見つけた形を手がかりに「和」をあらわす連続したパターンを構想し、布面への構成を考える。 ○ゴム版にパターンの一つを彫り、スタンプをつくる。 ○スタンプを使い、布に染色していく。色は日本の伝統色から選ぶ。 ○完成した布を実際に使ってみる。	生活をいろいろ文様	40~43
					形の世界を知ろう	74~75
	2学期 (24時間)	6	絵や彫刻など [描く活動]	「宝場所」を探そう	○自分のこれからの生活を想像しながら、学校の敷地内で大切にしておきたい「宝場所」を見つけ、絵であらわす。 ○風景から感じ取ったことをもとに、形や色、構図などを工夫する。 ○完成した作品を互いに鑑賞し、表現の意図や工夫を感じ取る。	心ひかれるこの風景

学期	時数	分野・領域	題材名	学習活動	使用する教科書題材	ページ	
後期 (27時間)	2学期 (24時間)	4	デザインや 工芸など [描く活動]	自分を あらわす 形と色	○さまざまなシンボルマークを調べて、共通する特徴をまとめる。	文字で楽しく伝える	44~45
					○自分をあらわすにはどんな形や色を用いればよいか考え、缶バッジのデザインとして自分のシンボルマークの構想を練り、あらわす。		印象に残る シンボルマーク
		4	デザインや 工芸など [描く活動]	私の美術館	○地域の美術館で作品を鑑賞し、作品を1点選ぶ。	美術館を楽しもう	79
					○自分が選んだ作品の作者について調べ、その作者になりきってグループで表現の意図や作品に込めた思いなどを説明する。		
		5	デザインや 工芸など [つくる活動]	カードで 気持ちを 伝えよう	○美術館での学習を振り返り、展覧会のテーマの決め方や、作品の配置のしかた、美術館の役割や空間の演出のしかたを知る。	色や光の特徴を 知ろう	76~78
	○展覧会のテーマによる作品の選択、空間の演出のしかたによる見え方の違いなどに気づき、自分でテーマを決めて、展覧会の企画を考える。						
	○展覧会の企画に沿って、展示空間の構想を練る。				美術館を楽しもう	79	
	3	絵や彫刻など [描く活動]	音に形や色を のせて	○カードを送るときの気持ちや、どんなカードをもらおうと嬉しいかを話し合う。	気持ちを伝える デザイン	48~49	
				○自分の気持ちを伝えたい相手を考えて、カードのデザインの構想を練る。			
	8	デザインや 工芸など [つくる活動]	私の箸	○紙の加工方法を試し、受け取った人が驚くようなしなかけを工夫して表現する。	紙でつくる	68~69	
○音をどんな線であらわすことができるか、太さや色を変えながら試してみる。				見えないものを あらわす	26~27		
○自分の好きな曲を、形や色で表現する。その際、歌詞の内容にはあまりこだわらず、曲を聴いたときに感じた自分の思いや印象を形や色にあらわすようにする。							
3学期 (9時間)	1	絵や彫刻など [鑑賞]	視線の先を 想像して	○箸を使う文化について、日本以外の国のことも調べて発表する。	木と親しむ暮らし	54~55	
				○木の特徴を理解し、自分が使うことを考えて、箸をデザインする。			
3	1	絵や彫刻など [鑑賞]	視線の先を 想像して	○制作中に、何度も自分で使ってみるなどして、持ちやすい形に仕上げていく。	美術鑑賞を楽しむ 手がかり	80~81	
				○ヨハネス・フェルメールの「地理学者」を鑑賞し、描かれている人物は何を見ているのか、どんな気持ちなのかを想像して話し合い、作品の見方や感じ方を広げる。			